

管理 No.402 【パクリタキセルB法】

2015年1月4日作成

疾患名：乳がん 1クール：7週(6週投薬、1週休業) 総クール数：補助化療4クール、再発PDあるいはPS悪化まで

1. 薬剤

抗癌剤一般名	商品名	標準投与量	投与日	用量規制毒性
パクリタキセル	パクリタキセル「サンド」	100 mg/m ²	Day1、8、 15、22、 29、36	骨髄抑制(好中球減少、白血球減少など)、過敏症、 末梢神経障害、血圧低下

2. レジメン

投与日	Rp	ルート	投与時間	使用薬剤名	標準投与量	備考
Day1、8、 15、22、 29、36	1	点滴静注	30分	ファモチジン(20mg)	1A	点滴中に レスタミンコーワ錠 5錠 内服
				デカドロン(3.3 mg/1mL)	2A	
				生食 50mL		
Day1、8、 15、22、 29、36	3	点滴静注	60分	パクリタキセル「NK」	100 mg/m ²	専用の輸液セットを使用
				生食 250mL		

3. 初回投与基準

- PS規定: PS 0、1、2
- 白血球 $\geq 3000/\mu\text{L}$ 、好中球数 $\geq 1500/\mu\text{L}$ 、血小板数 ≥ 7.5 万、ヘモグロビン $\geq 9.0\text{g/dL}$
- 発熱、CRP上昇あるいは白血球増加($\geq 12000/\mu\text{L}$)等の感染兆候なし
- 総ビリルビン $\leq 1.5\text{ mg/dL}$ AST、ALT $\leq 2\times$ 施設の正常値上限
- クレアチニン $\leq 1.5\text{ mg/dL}$ BUN $\leq 25\text{mg/dl}$
- 心電図正常(心疾患、重篤な不整脈がない)

4. 2週目以降投与基準

- 白血球 $\geq 2000/\mu\text{L}$ 、好中球数 $\geq 1000/\mu\text{L}$

5. 次クール開始基準 (2クール目以降、投与前日又は当日に下記条件を満たさない場合は延期する。下記以外は初回投与基準に準じる。)

- 白血球 $\geq 3000/\mu\text{L}$ 、好中球数 $\geq 1500/\mu\text{L}$
- 発熱、CRP上昇あるいは白血球増加($\geq 12000/\mu\text{L}$)等の感染兆候なし
- 総ビリルビン $\leq 1.5\text{ mg/dL}$ AST、ALT $\leq 2\times$ 施設の正常値上限
- クレアチニン $\leq 1.5\text{ mg/dL}$ BUN $\leq 25\text{mg/dl}$
- 心疾患、重篤な不整脈がない

6. 減量・中止基準 (前クール投与後に下記のいずれかに該当した場合は減量する)

種類	最悪時の程度	次回投与量
好中球数 (白血球数)	500/ μL 未満 (1000/ μL 未満)	第1段階パクリタキセル 80 mg/m ² に減量、 第2段階パクリタキセル 60 mg/m ² に減量、 さらなる減量はせずに中止
血小板	5万/ μL 未満	
非血液毒性	Grade3 以上	